

# 南会津地域感染症通信 9月号

調査対象期間：2018年第34週～第38週（8/20～9/23）

平成30年9月  
福島県南会津保健所  
電話 0241-63-0306



穂がたくさん実った稲やすすきがあちこちで見られるようになり、秋の気配を感じるようになりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？全国的には風しんが流行しています。管内ではまだ発生していませんが、定期的予防接種を受けるとともに、手洗い・うがいをしっかり行い、予防しましょう。

＜感染症流行状況＞ ※南会津地域の指定医療機関（2か所）からの報告をもとに作成しています。

	34週	35週	36週	37週	38週	県内の状況
RSウイルス感染症	0	0	2（流行）	0	0	管内を除くすべての地域で流行
ヘルパンギーナ	0	1（小流行）	0	0	1（小流行）	管内を除くすべての地域で小流行・流行
咽頭結膜熱	1（小流行）	0	0	0	1（小流行）	一部地域で流行・小流行
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2（小流行）	0	2（小流行）	1（小流行）	1（小流行）	管内を除くすべての地域で小流行
手足口病	0	5（流行）	1	1	1	一部地域で流行・小流行

※数字の後ろの（ ）内は南会津管内の流行状況です

◇県内では、RSウイルスやヘルパンギーナの患者数が高い水準で続いています。また、これからの季節はインフルエンザの流行も考えられますので、手洗い・うがいの感染予防策の励行に努めましょう。

## ＜今月のトピックス＞ 結核～結核は過去の病気ではありません～



### ■結核予防週間 9/24～9/30 今年度テーマ“遺したいものは、それですか”

結核は過去の病気ではありません。福島県内では、昨年138名の方が新たに結核を発症しています。そのうち、約8割が65歳以上の方です。自分が結核だと気づかずに周りの人々にうつしてしまうことがあります。

早期発見・早期治療により治す事ができますので、結核について正しい知識を身につけましょう。

#### ◎結核とは・・・

結核とは、結核菌が主に肺に炎症を起こす病気です。結核を発症し重症化している人の咳やくしゃみに含まれる結核菌を吸い込むことによってうつります。通常、結核菌を吸い込んでも自らの免疫機能により身体から排除されたり、感染しても増殖せずに発病することはまれです。しかし、抵抗力が低下している人や乳児・高齢者は、身体から結核菌を排除する力が弱いため、発病する危険性が高まります。

結核は6か月ぐらい毎日きちんと薬を飲めば治ります。

しかし、治療の途中で服薬をやめてしまうと治るところか、菌は抵抗力をつけ、薬が全く効かなくなることもあります。

#### ◎主な症状

長引く咳（2週間以上）、痰が出る、長引く（体の）だるさ、  
長引く微熱、胸の痛み、急に体重が減る etc.

#### ◎結核の予防接種

生後1年までにBCG接種を受けましょう！BCGは結核に対する免疫をつけて、乳児の重症化を防ぐ予防接種です。生後5～8か月に必ずBCG接種を受けましょう。

### 発見されにくい！高齢者の結核

咳や痰などの目立った症状があらわれにくいのが、高齢者の結核の特徴です。日頃から健康状態に注意し、年に1回のレントゲン検査を受けましょう。

